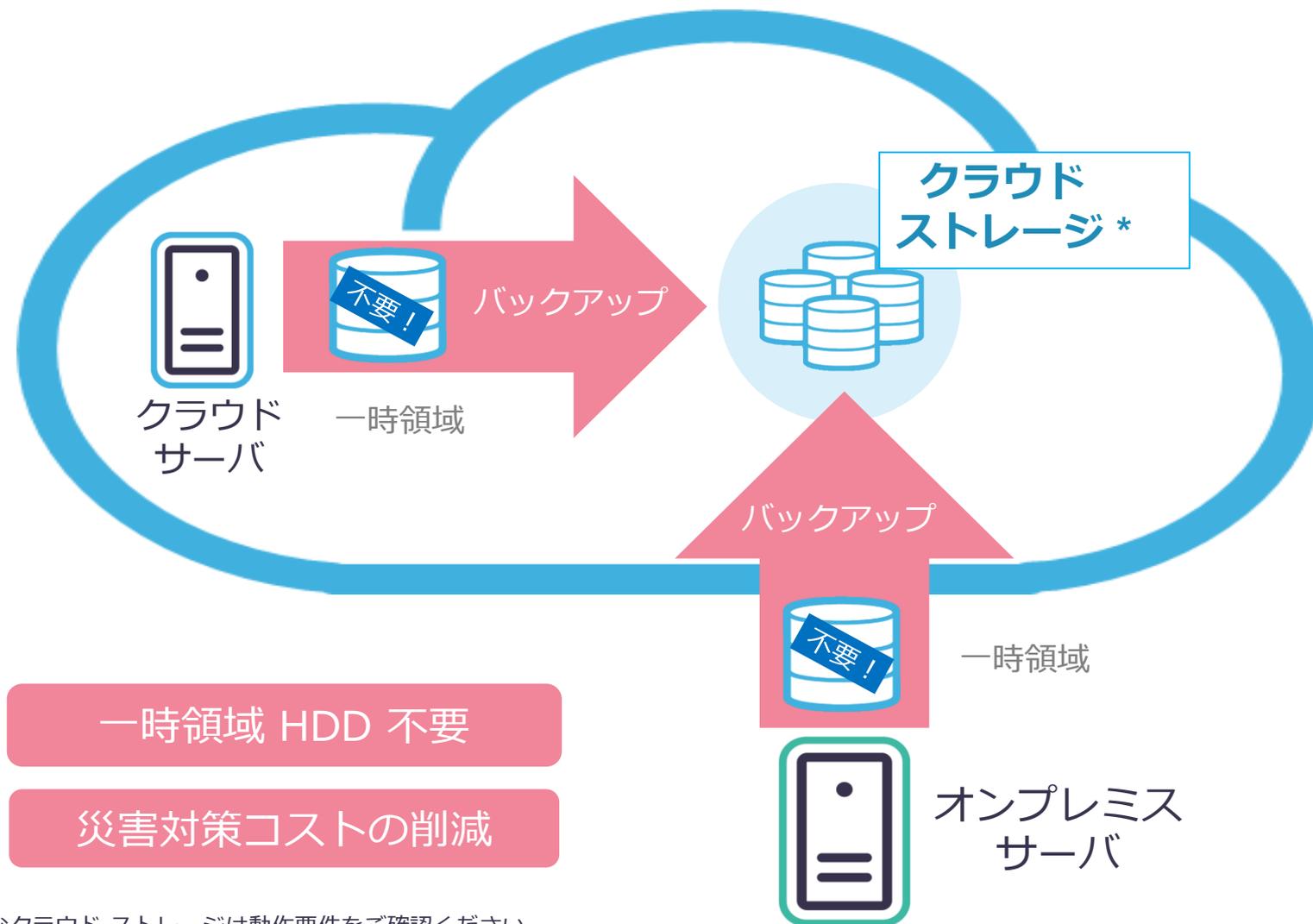


arcserve®
assured recovery™

新製品
Arcserve Backup r17.5
のご紹介
(SP1対応版)

Arcserve Japan

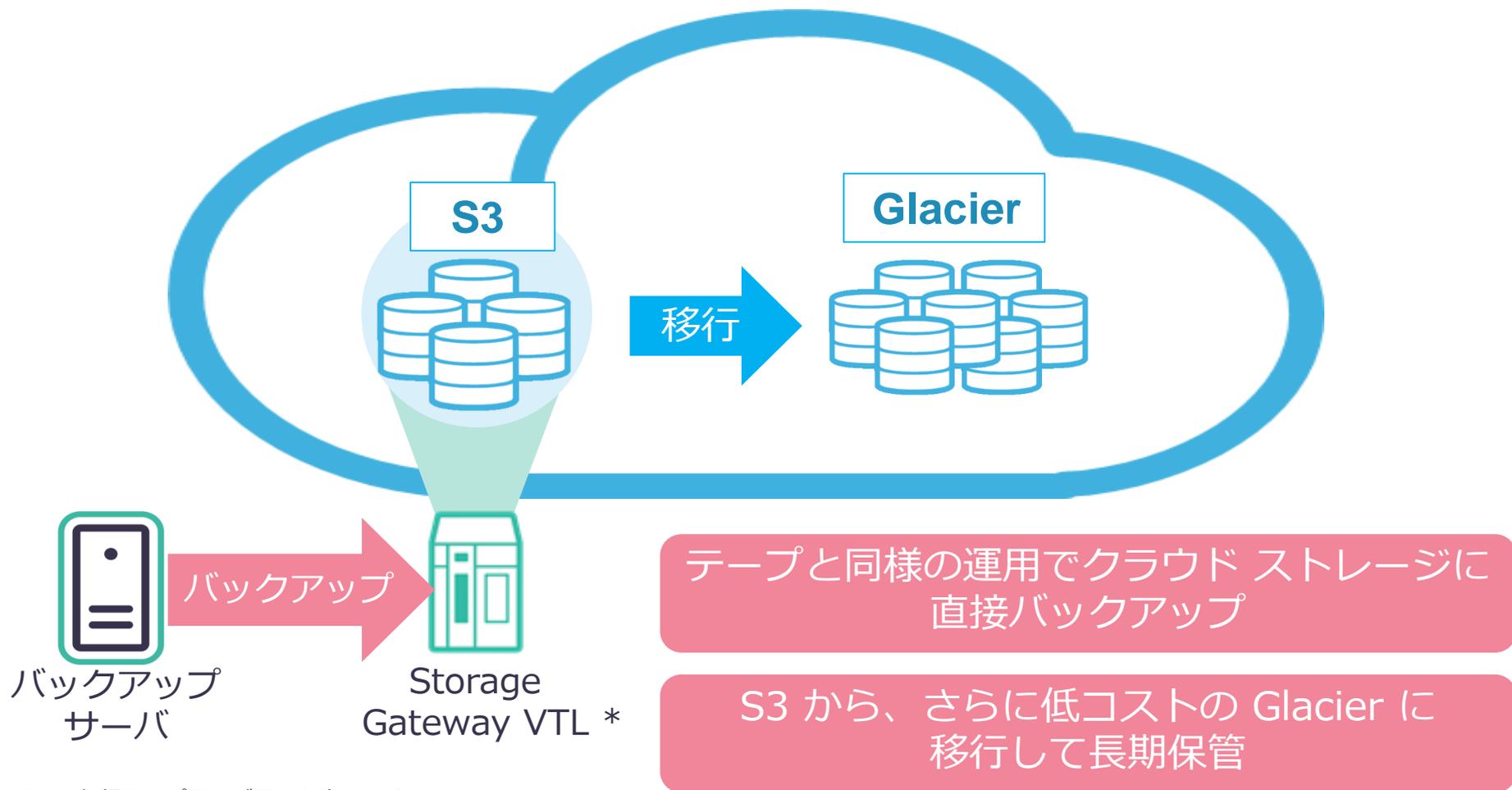
> クラウド ストレージへの直接バックアップ



*利用可能なクラウド ストレージは動作要件をご確認ください。
<https://support.arcserve.com/s/article/218380243?language=ja>

> AWS を活用して仮想テープ運用を実現

クラウド ストレージにバックアップデータを直接格納



*VTL は仮想テープライブラリを表します。
Storage Gateway VTL の利用には AWS の要件をご確認ください。

> Windows Server 2016 のサポート

物理/仮想環境を保護



Windows 2016
物理サーバ



Windows 2016
Hyper-V
(仮想マシン / ホスト)

アプリケーションのオンライン バックアップも対応

SQL Server 2016

Exchange 2016

SP1 Domino 9.0.1 FP8

Active Directory



バックアップ



ベース、オプション、エージェントで サポート

エージェント



Windows
2016

バックアップ

ベース
オプション



Windows
2016

新クラスタ構成にも対応

ワークグループ
クラスタ構成



WORKGROUP

マルチドメイン
クラスタ構成



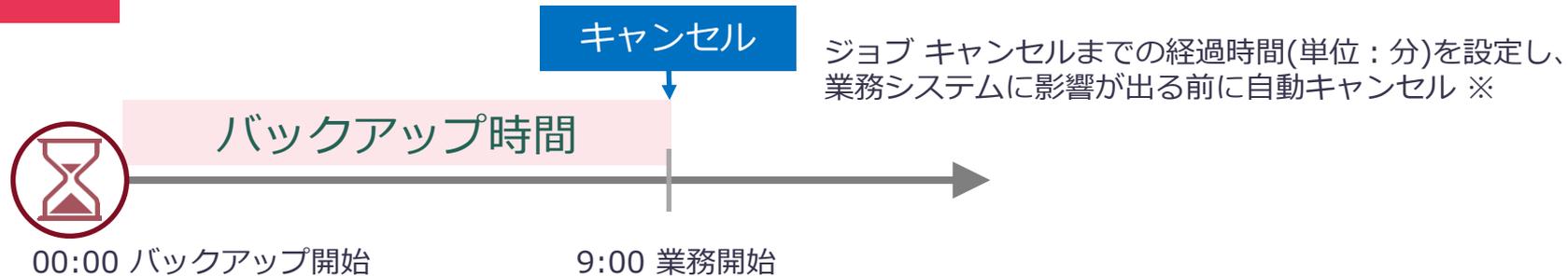
Domain1 Domain2

SP1 SLA遵守のためのバックアップ機能

業務開始時間になってもバックアップが終わらない場合、自動的にジョブをキャンセルすることで、業務システムへの影響を回避



SP1 摘要後



※キャンセル時点までにバックアップが済んでいたファイルはリストア可能

SP1 SLA遵守のためのバックアップ機能

設定は簡単

バックアップ マネージャ - [スケジュール]タブで時間(分)を指定
既存のジョブにも設定可能

バックアップ方式

- フル (アーカイブ ビットを維持)(K)
- フル (アーカイブ ビットをクリア)(L)
- 増分(I)
- 差分(D)

WORM メディアを使用する(W)

次の時間後にバックアップを終了: 600 分

キャンセル時のアクティビティログ例

“バックアップジョブがキャンセルされました。SLAに設定されている割り当て時間(nnn分)を超えました。”

情報	W2016	00	2018/02/06 19:42:00	5	4	1 個のファイル (48.01 MB) がエージェントによって送信されました。処理速度: 547.00 MB/分
警告	W2257		2018/02/06 19:41:59	4		バックアップ ジョブがキャンセルされました。SLA に設定されている割り当て時間 (600 分) を超えました。
情報	W2016		2018/02/06 19:41:56	5	4	バックアップ セッション 4 (メディア: FSD)

SP1 高速デバイスの利用とメディア容量拡張

- 最新の大容量、高速なLTO8デバイス/メディアに対応



	容量 (非圧縮時)	容量 (圧縮時)	転送レート (非圧縮時)	転送レート (圧縮時)
LTO7	6 TB	15 TB	300MB/s	750MB/s
LTO8	12 TB	32 TB	360MB/s	900MB/s

- LTO8デバイスでLTO7メディアを変換して容量を拡張する、“LTO8 Type M” メディアに対応



	使用デバイス	使用メディア	バーコード ラベル	容量 (非圧縮時)
LTO7	LTO7/8	LTO7	xxxxxL7	6 TB
LTO8 Type M	LTO8	LTO7	xxxxxM8	9 TB
LTO8	LTO8	LTO8	xxxxxL8	12 TB

> その他の拡張（1）

Agent for VMが最新の vSphere 6.5 Update1 に対応

- SP1** Agent for VM に含まれる VDDK が更新され、vSphere 6.5 Update1 のバックアップに対応
暗号化された VM のバックアップにも対応

サポート対象の追加

- Microsoft SQL Server 2016 に対応
- SP1** Microsoft SQL Server 2014 SP2 Express に対応（デフォルト DB としても利用）
- SP1** Oracle 12c 対応強化（Linux, Solaris, AIX での CDB/PDB ）
- SP1** Domino 9.0.1 FP8（Windows 2016上） に対応
- SUSE 12 に対応
- Linux の BTRFS（B-tree file system） に対応
- Disaster Recovery の P2V（Physical to Virtual） に Windows 2012 R2、2016 を追加

TLS/SSLを使用した SMTP 経由のメール通知

- アラート通知方法として、TLS/SSL SMTP を利用したメール通知を追加

使い勝手の改善

- SP1** Agent for VMで、同じホスト名を持つVMの保護に対応
- NDMP NAS Option で、動的ソース選択時に一部ボリュームのフィルタが可能

> その他の拡張（2）

Arcserve UDPとの連携強化

- SP1** Arcserve UDP 復旧ポイントサーバのバックアップ時のソース指定を、個別のフォルダ指定から「DataStore」オブジェクト指定のみに簡略化
- Arcserve UDP との統合ジョブで認識できる VM 名を 64 バイトに拡張

Arcserve Backup が利用するコンポーネントの更新

- SP1** 製品が内部的に利用するサードパーティ製コンポーネントを、セキュリティやパフォーマンスが改善されている新しいバージョンに更新
- デフォルト Arcserve Backup データベースはSQL Server 2014 SP2 Express
 - Tomcat 8.0.43
 - JRE
 - 1.8.0.101 (Windows, Linux)
 - 1.7.0_07 (Solaris)
 - 1.6.0 (AIX)

インストールに関わる変更

- SP1** インストール時のライセンス登録/アクティブ化画面が削除され、操作ステップ削減

> お問い合わせはこちらから



Arcserve ポータルサイト : arcserve.com/jp
カタログセンター (カタログ、技術資料)

<https://arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center/>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserve ジャパン ダイレクト (購入前のお問い合わせ)

例 : 「この構成に必要なライセンスを教えてください」、「Arcserve Backup はXXXに対応していますか?」、「XXXはサポートされますか?」



フリーダイヤル : 0120-410-116

(平日 9 : 00 ~ 17 : 30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます)

<https://arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。本資料は情報提供のみを目的としています。このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。